

北相模総守護社
亀ヶ池八幡宮

社報

龜ヶ池



第13号

平成24年7月1日発行

悠久のときを越えて



御社殿鬼瓦と樅の木

いちよう



天然記念物のトキが日本国内で、三十八年振りに繁殖し、雛が誕生したとして大きな話題を振り撒いた。親鳥は大切に、或いは必死に雛に餌を与えて育て、そして五月には巣立ちを迎えた。実に喜ばしい報である。今後は自ら餌を探し生きていくことになる。すくすくと育って欲しい。

日本は神代から瑞穂の国と呼ばれ、稲作を主産業として自然と調和しながら文化が発展してきた。近頃の近代化した農業では効率化を図り、農薬・化学肥料、また品種改良によって米の生産量は格段に増加した。しかし自然界との均衡は崩れてしまったように思う。トキの餌となる泥鰌やミズは水田から姿を消してしまった。

今回のトキの繁殖は、周りの農家の協力が大きい。トキとの共生を目指した農薬や化学肥料の使用を控えた農法が、トキを取り巻く自然環境を改善し成功を導いた。向後も自然と共生するために努力していく必要がある。



建宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮



節分祭齋行 —邪気災厄をはらう—

梅の香高く、春の風吹く2月3日、節分祭が盛大に齋行されました。

元来、節分とは四季を分ける日である立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しますが、いつしか節分といえば立春の前日を指すようになり、豆撒き行事が行われるようになりました。

当日は、福男・福女の豆撒師の皆様は先ず御社殿でお祓いを受け、追儺板を力強く打ち鳴らし、鬼を退散させました。その後、神楽殿回廊の特設舞台上で「福は内、鬼は外」との大きな掛け声と共に豆撒きが行われ、特設舞台の下では投げ出される福豆を得て福を授かろうと、参拝者が両手を広げ、歓声を上げていました。福物を御協賛下さいました崇敬者各位に御礼申し上げます。



新しい年への願いを込め、希望に満ちた平成二十四壬辰年も穏やかに幕を明け、本年も相模原市内外より亀ヶ池八幡大神の広大無辺なる御神徳を仰ぐ大勢の参拝者で、新春の御社頭は大変な賑わいを見せました。

昨年三月十一日に発生した未曾有の東日本大震災後、初の正月であり、被災された地域の一日も早い復興を願い祈願祭を齋行し、元旦を迎えました。

元日より御社殿では家内安全・厄除け・商売繁盛等の御祈禱が続き、お守り・絵馬・破魔矢等を受ける善男善女で境内は埋め尽くされました。

平成二十四壬辰年

初詣賑わう御社頭——ご利益満願——

神社参拝研修旅行 —箭弓稲荷神社参拝—

当八幡宮恒例の神社参拝研修旅行は、東日本大震災が発生した昨年は止むことなく中止となりましたが、本年3月12・13日に2年振りに総代世話人・神職22名が参加のもと実施されました。



この研修は、神社を参拝し、由緒や境内また祭典・行事等神社神道の見聞を広め、今後の神社護持の一助になることを目的に実施しています。本年は埼玉県東松山市に鎮座する箭弓稲荷神社を正式参拝。続いて上野国総鎮守の総社神社を参拝し、水上温泉で日頃の疲れを癒し懇親を深めました。翌日は富岡製糸場を見学し、午後は昭和天皇の御生涯を展示・紹介している東京都立川市の国営昭和天皇記念館を見学し帰途につきました。

その後、根岸宮司は昭和聖徳記念財団発行「昭和」に寄稿致しました。ここにご報告致します。

夏越大祓式 茅の輪くぐり神事

水無月の

なごしの祓する人は

千歳の命延ぶというなり

六月三十日午後三時、御社殿前に於て、「夏越の大祓 茅の輪くぐり神事」が古式に則り齋行されました。

日本古来の伝統的な信仰である大祓は、日々の生活の中で知らず知らずのうちに身についた罪や穢れを祓い清め、清く明るく正しい生活を送ることが出来るようにと願う「よみがえり信仰」の根源となる神事です。

当日は梅雨の晴れ間、強い日射しの照りつける中にも拘わらず、四百名を

越える老若男女が参列しました。

神職等の大祓詞奏上後、心身ともに祓い清められた参列者は、宮司に続き御社殿前に設置された茅の輪を三度くぐり、向こう半年の無病息災を祈願致しました。



一心泣き相撲 第二回「亀ヶ池場所」開催

五月二十七日、一心泣き相撲の第二回「亀ヶ池場所」が開催されました。

当日は風薫る五月晴れに恵まれ、受付を済ませられた可愛らしい赤ちゃんが化粧まわしを身につけ、親御さんの考えた四股名が書かれた兜を頭にかぶり、ご神前にてお祓いを受けた後、いよいよ土俵入りです。

行司が一人ひとり赤ちゃんの四股名を声高らかに呼ぶと、豆力士(赤ちゃん)は、大人の力士に抱えられ、御本殿前に設けられた土俵の上へ進みます。

「はっけよい!」の行司の合図で泣き相撲が開始され、八幡様が見守るなか、いよいよ元気良く泣くと親御さんはじめ、ご家族の皆さんは大変な喜びようで、我が子の姿を写真に収めようと右往左往。その後、力足・一升餅担ぎ・手型・福引等の楽しいイベントをして大変な賑わいになりました。

参加された多くの方々から、「親子の絆が一層深まり良い思い出になる行事であり来年も是非計画してほしい。」との声が寄せられました。



平成の御社殿・御神門等 御造営 奉賛のお願い

御鎮座八百年 奉祝記念事業



御社殿・御神門完成予想図

亀ヶ池八幡宮では、明治維新百周年・天皇陛下御即位六十年・亀ヶ池八幡宮第十一回還暦大祭・平成御大典等々の記念事業を通して、境内建物や構築物等の整備事業を逐次進め、八幡大神の御神徳の宣揚に努めて参りました。これも偏に、崇敬者皆様方の赤誠溢れる御厚意による

賜物と感謝申し上げます。さて、当八幡宮は建保二年(一二一四年)に鎮座されたと伝えられ、爾来、元弘・文禄・明暦・延宝・宝暦と時代ごとに御社殿再建を重ね、来る平成二十六年には悠久の時を経て、御鎮座八百年の慶節を迎えます。そこで数年来「御鎮座八百年

奉祝記念事業」として、御社殿御神門等の御造営計画を進めて参りましたが、愈々今秋、御社殿・御神門等の建築地鎮祭を斎行し、大勢の工匠達の技・そして節目々々の神事を経て、二年後の平成二十六年秋には「平成の御社殿・御神門」が竣工の予定です。

亀ヶ池八幡大神の広大無辺な御加護のもとに、尊き御神縁に結ばれました御信仰深き皆様様の絶大なる御協力と御賛同を戴き、本事業が滞りなく、そして見事に完遂されますよう切に念じ上げるものでございます。

つきましては、崇敬者皆様方の心温かな赤誠溢れる御奉賛を、左記要領により賜っておりますので、どうぞ趣旨を御賢察戴き御理解御協力の程、伏して宜しくお願い申しあげます。

亀ヶ池八幡宮 宮司 根岸信行
御造営奉賛会 会長 清水 亨
役員 一同

■奉賛金

個人一口 五〇〇〇円(二口以上)
法人一口 一〇〇〇〇円(一口以上)

■期間

平成二十四年より平成二十六年九月まで

■奉賛金納入方法

①当八幡宮社務所までお届け下さい

②左記口座へお振込み下さい

(振込用紙本人様控えを領収書とさせていただきます)

●八千代銀行上溝支店 普通預金
店番号048 口座番号0653329

●口座名 亀ヶ池八幡宮社殿御造営奉賛会

●相模原市農協上溝支店 普通預金
店番号5159-1004

●口座番号0029288

●口座名 亀ヶ池八幡宮社殿御造営奉賛会

※お申し込み・お問い合わせは亀ヶ池八幡宮社務所 TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811 へお願いいたします。

